



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.73

2019.夏号



デイケアセンター利用者の方々の作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

(社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

(事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

(組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20

ライフケアセンター

施設全体行事

風船バレー大会

春祭り

5/14火



6/19水



7/27土



7/27土



八朔踊り

盆踊り



七つの子

(複合施設を童謡の題名に例えて表現しました。) この「七つの子」では、各団体のご協力のもとで行われた行事を中心に、ご紹介していきます。

きずな会

正派若柳流「きずな会」

6/25火



オカリナアイリス

5/29水



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《七夕のお茶会》

7月8日に七夕のお茶会を開きました。利用者様と一緒に7月2日、4日の両日で飾り作りと飾り付けを行い、お茶会当日には綺麗に飾られた笹を見ながら短冊に書かれた願い事を読み上げたり、「たなばたさま」の曲を歌って季節を感じる事が出来ました。

また、お茶会といえば利用者様が楽しみにされているのはお菓子です。

今回はフルーツあんみつを用意し、デイケアさんにお借りしたガラスの器に盛るととても涼しげで良い感じとなりました。これは利用者様からも大好評で『あんみつも美味しいし、器もええわー。この器ももらえるん?』とのお言葉が・・・『残念ですが、借り物で差し上げられません』と丁重にお断りしました(笑)

なごみ苑の利用者様に喜ばれる会にしようと色々と考えて準備をしましたが、器まで気に入ってもらう事ができて嬉しかったです。貸して下さったデイケアさんにも感謝です。お茶会の方は和やかな雰囲気の中で会話も弾み皆さんの笑顔も溢れて楽しいひと時となりました。

最後になりましたが、今年の皆様の願い事が叶いますように☆彡



風船バレー大会

6月19日に風船バレー大会が行われました。前回は優勝出来なかった為今回は皆さんやる気満々! \ (^o^) /

はちまきを巻くと皆さんやる気が出てきたようです(笑)

応援にもいつもより皆さん熱が入っていました!

「頑張っ〜!」

「頑張れ! 頑張れ! なごみ!!!」 (^o^)

他のところの応援に負けない声援を送ったかいもあり全勝で優勝することができました!!! \ (^o^) / ワーイ!

応援する方も選手として参加した方もみんなそれぞれに頑張りをを見せてくれ、とても楽しい時間を共有出来て良かったと思います。(^o^)

皆さんお疲れ様でした☆彡
皆さん次回もその調子でお願いします!



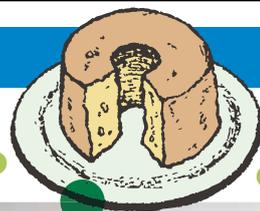
介護職員 稲本 祐子 三好 理加

Jテラスカフェ

4月22日の午前と午後に分けて、みなみがた荘の利用者様と一緒に、岡山大学構内にあるJテラスカフェに行きました。近隣のため、岡山大学正門を通り抜けると、すぐカフェに到着しました。利用者様も久々の外出ということでとてもわくわくされている様子でした。ガラス張りの店内からは、新緑の公園のような広場が見え、木漏れ日もさしていました。皆様、シフォンケーキに好みの飲み物を注文されました。明るい雰囲気の中で「美味しいねー。」と会話もはずみ、皆様上手に食べられている姿が印象的でした。軽食後、カフェ周囲



の道を散策しました。ピンク色のサツキやツツジを見ながら「本当に連れて来てもらって良かった。」「良い気分転換になった。」と嬉しそうに話されていました。天候にも恵まれ、素敵なカフェでゆったりとした時間を利用者様が楽しまれていて、良い遠足だったと思います。これからも利用者様の価値観に寄り添えるような支援をしていきたいと思いました。



介護職員 松浦 俊成

七夕

7月1日に七夕の飾り付けを行いました。利用者様がそれぞれの願いを短冊に書いて笹に飾りました。七夕の歴史について少し調べてみると笹竹に五色の織り糸を掛けたのが七夕飾りの始まりと言われていています。後に五色の糸は絹の布にかわり、江戸時代頃には七夕が5つの節句の1つとして庶民にも広まったのですが、布は高価で中々、庶民には手が出せず、そのころから紙にかわり今の短冊の原形になったそうです。さて願い事の中身を少し見ると利用者様のなかには「健康で長生きしたい」、「おいしいものが食べたい」、「家族に会いたい」など日頃からの素直な願いであったのに対して職員の中には「ダイエットに成功したい」、「彼女がほしい」など切実な願いが書かれていました(笑)。皆さん思いが個性豊かでいいですね！最後に、エレベーターの前で短冊をたくさん飾った笹と一緒に、皆で記念写真を撮りました。利用者様も「きれいな七夕飾りができたわ」、「願い事が叶うとええな」などと言っており、思い出に残るものになったのではないかと思います。



介護職員 松浦 俊成

春祭り

5月14日に春祭りを行い、今年はどうなメニューにしようかと職員で話し合いをした結果、豆腐で作る2種類のお団子に決定しました。1つは普通の豆腐団子、もう1つはヨモギ粉を混ぜた豆腐団子にし、みたらしの餡をかけた物とあんこをのせた2つのバージョンを作りました。ヨモギを入れた団子は、思わずよだれがこぼれそうな程とても良い香りがしました。

食べた方々は「食べやすく美味しかった」などと言って下さり嬉しかったです。

準備など、ばたばたして慌ただしかったですが楽しい時間となりました。 介護職員 白坂 未来



七夕飾り

7月2日午前より入居者30数名の方々と笹の飾りつけを行いました。皆様、楽しそうに笑顔でせっせと飾りつけをして下さったので、30分程で完成。

8階の吹き抜けの手すりに飾ってもらい、記念写真をたくさん撮りました。

「とっても綺麗ね。」とたくさんの声をいただき、素敵な時間を過ごせました。

皆様ありがとうございました。

介護職員 宮武 恵美子



8月誕生日会

8月6日にやよいの里で誕生日会を行いました。今月は5名の方がお誕生日を迎えられました。都合により、その内の2名の方のみの参加でしたが、まずは全員で『ハッピーバースデー』の歌を歌ってお祝いし、その後、お茶請けの『水ようかん』をお出しすると「おいしね」という声があちらこちらからあがりました。また、レクリエーションゲームでは『ことわざゲーム』を行うと「意外に覚えてないわ」といいつつも楽しそうに答えられていました。最後に誕生日の方からお礼の言葉も頂き、職員一同にとっても楽しい時間となりました。 介護職員 石本 明史





なでしこ苑

介護老人保健施設

風船バレー大会

綺麗な紫陽花が観れるようになったころ、令和最初の風船バレー大会になりました。出場される方々はニコニコされてましたが、ハチマキ姿は勇ましく見えました。職員同士で「ああでもない、こうでもない。」とみんなで作戦を考えて挑みました。

試合が始まり、苑のリハビリスタッフから「今年のなでしこは、ちがいますよお！」と言われ、観ると「なっ、なんとお！マッチポイントおお！」あと一点で勝てる展開となりましたが、残念



ながら。。。いざ、第二試合！「またまた、マッチポイントに！」それも点差が開いてる、開いてる。しかし、勝利にはとどきませんでした。

結果には繋がりませんでした。皆さんの笑顔がみれ、近い将来には毎週末の練習が実を結ぶような気がしてならないです。

結果には繋がりませんでした。皆さんの笑顔がみれ、近い将来には毎週末の練習が実を結ぶような気がしてならないです。

介護職員 洲脇 仁泰

蟻太郎

ある日の社員食堂。窓の外に蟻太郎という蟻が一匹おりました。ふと下を見ると、何やら寂し気な庭があるではないですか。

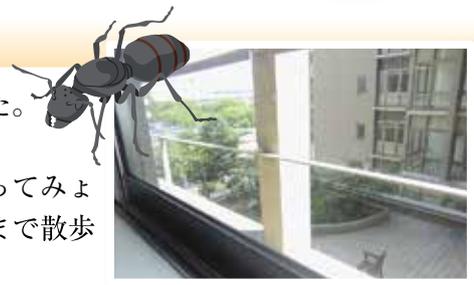
「どうしたんなら。この緑ばかりな庭は。ちょう近くに行ってみようか。」蟻太郎は社員食堂の下の階にある‘なでしこ苑の庭’まで散歩に出かけることにしました。すると何とということでしょう！

そこには、赤やピンクのペチュニアが咲き誇り、ヘチマが猛烈な勢いで弦を伸ばし、巨大なキュウリがぶら下がっているではないですか！「なんならあ、こねえに綺麗な庭があったんじゃあ！」

しばらくすると職員の若い男性と車いすに乗ったおばあちゃんが庭を散歩に来ました。

「あ、キュウリが生ってますよ。後で採りましょう。」職員の言葉におばあちゃんは無言ですが、ニコニコしています。蟻太郎は思いました。「後で食べよう思ってたけど、ばあちゃんがあんなにいい顔になるんなら食べるのはやめじゃあ。」と。

少し寂しい庭ではありますが‘なでしこ苑の庭’には人を笑顔にさせる優しさがあるんだと学んだ蟻太郎でありました。



少し寂しい庭ではありますが‘なでしこ苑の庭’には人を笑顔にさせる優しさがあるんだと学んだ蟻太郎でありました。

介護職員 濱田（蟻太郎）昌宏

〈2F〉《7月の誕生日会》

梅雨に入りむしむしとした暑さが続いている中、このむし暑さを笑いで吹き飛ばすために2階では、誕生日会に二人羽織をしました。私は今回、食べさせる役をすることになりました。食べてもらう物として、牛乳、シュークリーム、パスタ、タバスコ、チーズ、ワンスープを準備しました。まずは、パスタを食べることにしました。パスタを食べる前に、チーズとタバスコをかけ、どうなることかと利用者様が大盛り上がり！そして…食べた瞬間あまりの辛さで牛乳を一気に飲みました。次に、温かいスープが飲みたくなったので、スープを飲みました。その際、あまりの熱さでオーバーアクションになってしまったため、利用者様は大爆笑！その後、最後に甘い物を食べようということで、シュークリームを食べることにしました。まず、シュークリームを半分に分け、それから口へ入れようとしたのですが、上手く入らず口の回りがベチャベチャになり、またまた利用者様は大爆笑でした。今回の誕生日会は、二人羽織をしてすごく盛り上がり喜んでいただけて大変楽しかったです。



介護職員 牧野 圭祐

〈3F〉《盆踊り大会》

7月27日、今年も盆踊り大会の季節がやって参りました。梅雨明けしたものの天候が心配されましたが、無事盆踊り大会を迎えることが出来ました。暑い中たくさんの人が参加され



て、職員が踊る中「私も踊りたい！」「とても良かった！」「あの人上手だねえ！」とよく踊りを見たり、花火を見て「キレイだねえ♪」「凄いねえ♪」「久しぶりに花火なんて見たよ♪」と興味津々で皆さん楽しんでおられました。時間があっという間に過ぎて、最初から最後まで熱気の冷めない盆踊り大会だったので、皆さんにとって最高の1日になったかと思います。これからもっと暑くなるので、こまめな水分補給を心掛けて、この暑い夏を乗り切って元気に過ごしてください。

介護職員 川間 脩平

〈4F〉《7月の誕生日会》

さて、7月9日はいったい何の日だったのでしょうか？それは毎月開催されている誕生日会の日でした。私の担当する4階は、7月の誕生日者がたったの1人でしたが、それでも大人数の参加でビンゴ大会を開催しました。前日、誕生日者に当日のスピーチをお願いしたところ、「そんなこと出来ないわ。」と言われていましたが、当日には…司会の紹介も十分させてもらえないうちに、自らマイクを持たれ素晴らしいスピーチをされました。沢山の方々に祝福され、そんな中でスピーチ出来たことが本当に嬉しかったそうです。

「感謝の気持ちを述べただけです。」と言われていました。

数日間は、「本当に良かった。」「本当に嬉しかった。」と喜ばれていました。ビンゴ大会も景品を用意し、大盛り上がりでした。

★ ★ ★
 こうして皆さんが苑生活の中で、少しでも「良かったあ」と感じて頂ける事が沢山あるように、日頃から心がけ、取り組んでいきたいと思いました。



介護職員 有本 美香





デイケアセンター

通所リハビリ

5月～7月の 主な行事

- ・ 5月 ハンドマッサージ
- ・ 6月 クラフト教室
風船バレー大会
- ・ 7月 「高齢者の脱水予防について」の話
第一興商さんによるカラオケレク



◆5月

彩さ美（エステサロン）様からボランティアの申し込みがあり、ハンドマッサージをしていただきました。案内の掲示をみて、「何かあるらしいよ。あんた行ってみようや。」と、それぞれが誘い合って大盛況でした。ハンドマッサージだけでなく肩のマッサージとネイルもしていただき、ネイルの色選びには「どれがいいかな」と迷いながら、キラキラ光っているもの、鮮やかな発色のもの等が利用者さんの爪を彩りました。「どんなもんかわからなかったけど気持ちよかった」とか「ハンドマッサージより肩のマッサージが良かった」などの感想があり、そんなに気持ちよかったですか？と尋ねると「そりゃあ若い別嬪さんにしてもらっせんじゃもん、ええわ」と溢れんばかりの笑顔でした。

彩さ美のスタッフの皆様からは、利用者さんとたくさん会話させてもらって楽しかったですとまた来させてくださいとの言葉をいただきました。こちらこそ、ぜひまたお願いします。

◆6月

クラフト教室
作品作りをしました
みんな真剣に先生の説明を
聞いています
かなり難しい・・・



風船バレー大会
おう！応援するぞ



完成品は、コレ →

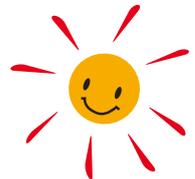


準優勝!! しました
応援賞ももらいました

◆7月

高齢者の脱水予防勉強会では大塚製薬様から試供品の経口補水ゼリーをいただきました。利用者の言葉「冷たくておいしかった。ゼリーが入ってるから飲みやすかったしメーカーさんのいう事だから安心して飲めた」「自分の健康のためだからね。話が聞けて良かったよ」
まだまだ暑い日が続きます。たくさん食べて、飲んで、しっかり睡眠をとってこの夏を乗り切っていきましょう。

介護職員 田淵 美也子



リハビリスタッフからのワンポイントアドバイス

【足のけいれん】について

よく「夕べ足がつって大変だった」という声を聞きます。『こむら返り』というこの現象は、多くはふくらはぎの『有痛性筋痙攣（けいれん）』と思われます。筋けいれんは高齢者の半数以上が経験しており、高齢者を苦しめる症状の一つです。

原因は筋肉の疲労、カルシウムやナトリウムなど電解質の不足、水分不足と考えられており、中でも脱水症状（＝水分不足）が大きく関与していると言われています。

症状が出たら、血行を促すようにマッサージをしながら、膝を伸ばして座って足の指先をゆっくりと手前に引き寄せてふくらはぎのストレッチをしましょう。

夏場には汗を多くかいて脱水傾向にあります。冷房などで筋肉が冷え血管が収縮して血行も悪くなりがちです。予防法としてはミネラルの入った水分の積極的な補給、足を冷やしすぎないようにする、適度な運動などが有効です。

ただし、起こる回数が多くて生活に支障が出るようなら、重大な病気が隠れていないかチェックするため、早めに医療機関を受診しましょう。

理学療法士 山本 健吾

デイサービス通信

風船バレー大会

風船バレー大会があり、今回もデイサービス・デイケアの合同チームで出場しました。



結果はなんと準優勝!! 頑張りました。即席のチームでしたが連携が取れていました。



試合に出場していない利用者様も一生懸命応援をしてくれました。パワーを沢山いただきました。(ちなみに応援賞もいただきました。) 次回は優勝を目指して頑張るゾー!!!!

デイサービスの景色

デイサービスの中庭には四季折々の花が咲き誇ります。

桜からは始まり、夏椿、アマリリス、紫陽花、そして今年はスタッフが持参した朝顔、珍しくミニトマトの花から身がなりつつあります。デイサービスの一つの楽しみでもあります。

利用者の皆様も朝来荘し、席に着いた後お茶を飲みながら中庭をみて「今日は、あの花が咲いているわ〜。あっ! あそこにもよ〜。」と利用者様同士で話をしている姿が見られています。心が和むひと時です。



日常の利用者様のご様子

作品作りの声掛けをして周りの方を誘ってくださる方がいて、会話を楽しみながら手を動かされて季節ごとの作品作りをしてくださっています。いつもありがとうございます。



追伸

昨年の痛ましい災害から1年が経ちました。今年も色々な災害があります。被害に合われた方々には心よりご冥福をお祈りいたします。

日頃からの準備が大切です。避難場所の確認、身近なものをリュックに備えておくことも大切です。水・ラジオ・懐中電灯・新聞紙・キャンディー・クラッカーなど。

ペットがいる方は餌を少し準備した方がいいです。

「備えあれば憂いなし」ですね。

特別養護老人ホーム

憩いの丘 デイサービスセンター

栄西禅師とお茶ゆかりの地に思いをはせて

歴史上では喫茶の風習は中国の唐の時代から発展したと言われています。殊に憩いの丘近くの安養寺は、栄西禅師得度の地であり、その栄西はお茶の祖とも言われています。伝統を継承する意味では、盆踊りで栄西踊りを踊り継いでいて、お抹茶を点ててご利用者と「茶の湯」を楽しんだりしています。月に1度のお抹茶の日では、ご利用者にお手伝いをいただいて利用人数分を点てます。「なかなか上手く点てれんな。」と言いつつもお点前を披露されました。「家じゃ飲むことがないなー。おかわりしょうか。」と皆さん喜んでおられました。何歳になってもちょっとしたおしゃれな時間を過ごすって素敵な事ですね。



利用者様の笑顔素敵です！！！！



利用者の頑張っている姿を写真に収めました。廊下に掲示すると「いい顔しとるが！」「いつものまんまの表情しとるよ！」「よーがんばとるが！」とお互いを褒めあい、なんとも言えない、良い光景を目にすることができました。

写真を撮っている時も「こんなのを撮ってちょーでえ」とリクエストも出て、活動や運動に力が入っていました。

本当に利用者の方々は、自身の為に、また誰かの為に一生懸命され、私達職員もアイデアに力が入ります。

写真は“もぐらたたき”ゲームの写真です。
(もぐらたたきゲームは、危険認識能力や瞬発力を高める事が出来るゲームです。)



利用者と混じって職員も「それーやれー！」「いいぞ！」「何でえそりゃあ！」と応援を受けながら取り組んでいます。今後も皆さんの“笑顔”をひきだしますよ！！



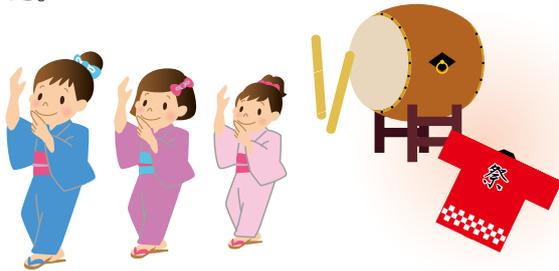
介護職員 間野 万貴

特別養護老人ホーム 憩いの丘

7/
26金

憩いの丘盆踊り花火大会

梅雨が明け夏本番。憩いの丘盆踊り花火大会が開催されました。ご利用者、ご家族、地域の方々、職員と櫓の周りを暑さも忘れ踊りました。そして花火大会今年も花火の大輪が夏の夜空に咲き乱れ大きな歓声が上がりました。



お好みコーナー

月に一度の「お好みコーナー」7月は特別です。ベランダで炭を熾してウナギを炙って昼食に温かいうな丼が提供されます。

利用者の方々は「良い香り」「早く食べたい」と焼けるのが待ち遠しい様子でテーブルにうな丼が並ぶと皆さん「美味しい」と笑顔で頂きました。



7/
30火

介護職員 吉本 弘子



介護老人保健施設

健康教室開催



今年4月から毎月第4火曜日の13時30分から開催している健康教室も地域の方々にも浸透してきております。毎回参加される方や新規で参加される方もおり、7月の健康教室では17名の参加がありました。

皆さんチェアヨガにも慣れてきており、毎回スムーズに動けるようになってきています。継続して参加することは、やっぱり大事なことだと感じます。

参加者自身の体の状態を知ってもらうために、6月に体力測定を実施しました。筋力やバランス、柔軟性を測定しましたが、できることや苦手な部分に分かり参加者同士の会話も増え、いつも以上に盛り上がりを見せました。次回は半年後に再測定する予定にしています。

参加者から、日ごろから気になることなど質問されることが増えてきており、その質問を次回の健康教室で皆さんにお伝えするというも行っています。

今後も、地域の方々役に立つ情報や健康を維持するために家庭でも簡単にできる運動もお伝えしていきたいと思えます。

理学療法士 村藤 卓秀

ボランティアグループまんぼう 来荘



令和元年7月30日（火）ボランティアグループまんぼうの皆様が来荘して下さいました。

利用者様は、最初の手品に関心しきりで見入り、続く銭太鼓では、手拍子にも力が入り楽しそうにリズムをとっていらっしゃいました。

最後のフラダンスでは、衣装や踊りに魅了されてうっとりされている様子でした。

フラダンスのレイを首に掛けて頂いた利用者様は、「ハワイに行ってきた気がする。」と喜ばれていました。また、「度々来てくれたらいいのに。」と言われる利用者様もおられました。

ワクワク・ドキドキさせられる素敵な楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

介護職員 本田 和子



岡山県立西支援学校生 実習受け入れ

令和元年6月10日（月）～6月28日（金）に岡山県立岡山西支援学校の実習生受け入れを行いました。今回で3度目の実習となり、前回より少し慣れた雰囲気でお実習初日を迎える事ができた様子でした。利用者様から「また来てくれたん？頑張ってるな！！」と声を掛けられ「頑張ります！また宜しくお願いします！」と、ハキハキと答えられている姿が印象的でした。前回行っていた内容をより膨らませ、大変かな？と思う事もありましたが一生懸命に取り組まれテキパキと行っていました。利用者様からも「若い子が頑張っている姿を見ると、こっちもまだまだ頑張らんといけん気になってくるわ！！」と言う声が聞かれ、良い相乗効果が生まれていたように思います。実習最終日には「有難う！お疲れ様！」と声を掛ける利用者様に大きな声で「有難うございます！また来ます！！」と素敵な笑顔で答え実習を終了されました。何事にも一生懸命取り組む姿を目の当たりにし、初心を忘れず日々の業務に精進し邁進していこうと再確認させて頂きました。

介護職員 藤岡 麻由子

介護老人保健施設

子供会 ラジオ体操



令和元年7月22日（月）～7月31日（水）まで地域の子供会ラジオ体操が備中荘にて行われました。

今年は私自身も子供会の役員としてラジオ体操に参加しました。梅雨明けが遅く、蒸し暑い朝も多い中、子供たちはそれにも負けず毎朝元気に体操をしていました。私も多少へこたれそうになりながらも子供たちと一緒にふれあうことができました。これからも子供たちの成長を見守りながら、微力ではありますが地域と施設がより交流を深めていけるよう頑張りたいと思います。

介護職員 長尾 順子



認知症の人の理解

令和元年7月9日（火）16：30～17：30地域交流ホールにて、公益社団法人 認知症の人と家族の会岡山県支部 景山富久子副代表を講師に招いて「認知症の人の理解」をテーマに研修を行いました。認知症指導者研修での教材として使用されている貴重なDVD（岡山では景山副代表を含め2名しか使用できない）をもとにお話があり、DVDの中で認知症の親を介護していた方が認知症となり、自分の経験を思い出しながら日々過ごしている。抜け場のない場所に入れられたようで辛い・わからなくて困っているのを尋ねないでほしい・わからないから恐怖が強い・このかたちで生きていいのか…等たくさんの思いを語っている場面を観て苦しみ辛さがダイレクトに伝わり、日頃、利用者様に「どうされましたか？」など聞いてしまっている自分に気づき申し訳なさ・反省で涙がでそうになりました。また、先の見えない不安・周囲の人との戦い（身内でも理解が得られない事）など介護者もたくさんの思いがあり葛藤されていることも知ることができました。職員の笑顔・いろいろな事（できた事）を家族に伝えてくれる・背景を知ろうとしてくれる・気持ちを察してくれることで本人・家族は嬉しく救われたと感じるんですと実体験を教えてくださいました。この貴重な言葉・思いを常に心にとめ、日々のケアに活かし、より多くの方に笑顔で過ごしていただけるよう、これからも頑張ろうと思います。

介護職員 山邊 雅美

不在者投票を実施

令和元年7月17日（水）に第25回参議院選挙区選出議員選挙ならびに比例代表選出議員選挙の不在者投票を実施しました。

施設内で行われる例外的な投票であるため、利用者様が自由な意思に基づいて投票できるよう、十分な配慮のもと行わせて頂きました。

事務職員 市川 浩司



備中荘 防火避難訓練を実施



令和元年6月26日（水）に、防火避難訓練を実施しました。総勢21名が参加し、避難誘導等の訓練を行いました。備中荘でも、防火や防災への意識が高まっており、済生会吉備病院とも連携し、毎回真剣に訓練を実施しています。

定期的な訓練を実施し、より安全で安心される施設にしていきたいと思います。

事務職員 市川 浩司



開所記念日・交流会

今年も宇垣荘7歳のお祝いをご家族様、運営推進委員の皆様をお招きし、7月2日に盛大に行われました。

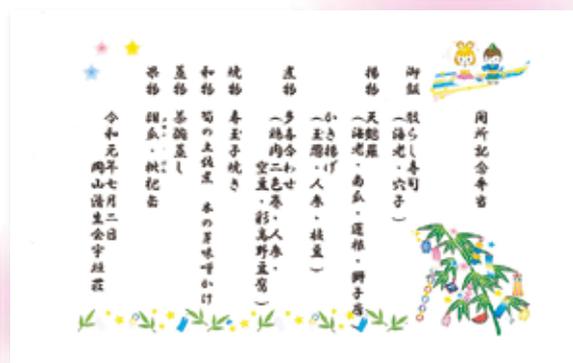
ホール・パブリック・ユニットと分かれ、ご家族様や運営推進委員の方々と談笑しながら、ごちそう（メニュー参照）とノンアルコールではありますがビールを飲食して頂きました。

皆様より「作るの大変だったでしょう」「美味しかったわー」等、喜びの言葉をいただき又来年同じように喜んでもらいたいと職員一同感じました。

ご利用者様同士、又ご家族同士の交流も話が弾んで楽しい一時をお過ごしになられました。食後はクイズも行い、ご家族様も積極的に参加して頂けてとても良かったです。

来年も宇垣荘の誕生日を皆様と楽しくお祝いできるよう、職員一同頑張っておりますので、又のご参加を心よりお待ちしております。

介護職員 森本 康子



小規模多機能型居宅介護事業所

避難訓練

6月25日火災を想定した避難訓練を行いました。火災報知機が作動して火元を確認。防災センターに通報をしながら初期消火を行い、避難誘導を行いました。すぐに応援者もかけつけ、4分半で全員の避難が完了しました。

模擬避難者として協力いただいた利用者から「大きい音でびっくりした。上手に連れて逃げてくれた。」と感想がありました。職員は、「訓練として手順を覚えていたけれど慌てました。実際は準備なくして起こるものでもっと慌てると思います。常日頃から現場で出来る対応について話し合いをしておく必要があると感じました。」と意見がありました。これからも冷静で的確な対応ができるよう定期的に訓練を行い、また二次災害を最小限に防げるよう事前にできる対策を考えていきたいと思っています。

管理者 西井 陽子



デイサービスセンター

スマイルみつ

6月18日にスマイルみつの皆さんによるフラダンスのステージが華やかに開催されました。素敵な衣装とダンスで南国の雰囲気はバッチリ！馴染みの歌も多く、皆さん音楽に合わせて一緒に口ずさんだり、手を動かしたりと楽しい時間が過ごせました。地域で活動されている方が多く、「あら、あんた久しぶりじゃなあ」「元気にしottaん?」「この人にはお世話になったんじゃ」と会話も弾みます。若かりし頃の活躍をしっかりと教えていただきました。最後は職員も一緒にフラダンスを教えていただきながら、皆で楽しく踊りました。皆さん、とっても素敵でしたよ！！

生活相談員 國富 由香里



養護老人ホーム

人形劇セレマグループ

6月27日、誕生会の慰問としてセレマグループの人形劇が開催されました。

2人のメンバーの息が合い、最初は何が始まるのであろうかと入所者の皆さんもわくわくしてくる雰囲気になりました。「こんにちは」声が上がると人形が飛び出してきて入所者の顔も解れたと同時に人形の動作と声のトーンに物語の中に引き込まれていきました。可愛らしい声、低い声、高い声、司会進行係等の複数の声が入所者の動きと重なり、入所者の皆さんの表情も豊かになり「次は何?」「どうしたの?」等の声が自然に飛び交う中、童心に返った様子で笑い声が響きわたりました。

複数の声の役割を持たれた技法もプロとしての意識が高く感じられ楽しく観賞することができました。

計画作成担当者 田村 浩子



外出支援



7月26日に外出支援で御津野々口にあるカフェ「ガレージハウス」に行ってきました。クラシックカーも展示してあるお洒落なカフェです。

4名の入所者の皆さんはケーキセットを召し上がりながら「僕は昔、三菱のギャランに乗ってたんだ」「僕はスズキの軽四のバンに乗っていた」等々昔乗っていた車の話で盛り上がりおられました。

ケーキもとてもおいしく、お代わりされとても喜んでおられました。「また、一緒に行きましょう!」との声掛けに「また一緒に行こう!!」と笑顔で答えられていました。

とても暑い日でしたが、楽しい外出支援でした。 介護職員 重利 徹

新しい仲間が増えました

今までお世話をしていた鯉と金魚が、水槽が狭く感じるまで大きく成長したので、住みやすいところに放流する事になりました。



毎日お世話を下さる利用者さん

残ったのは、ドジョウが1匹とメダカが1匹でとても寂しくなっていたところに、この度、ランチュウ6匹とピンポンパール7匹が新たに仲間入りしました。

寂しかった水槽も華やかになって、入所者の皆さんや来園のご家族様の和になっています。毎日、お世話をしてくださる、利用者さんの生き生きとしたお顔が印象的でした。



大きく育った鯉と金魚の放流

総務課 吉澤 和幸

熱中症・脱水症にならないための勉強会

6月21日(金)株式会社大塚製薬工場様より「熱中症と脱水症について」約1時間かけ症状に合わせた対処法、また、1日8回を目安にこまめな水分補給を心がけることや、食事から水分と塩分をしっかりと補給することが予防の上で大切とお話をいただきました。スライドを携帯電話で撮影する入所の方もおられ、関心を持って話を聞いていただけでよかったです。

今年は梅雨明けも遅く7月後半から暑い日が続いていますが、勉強会を踏まえ脱水症にならないよう職員一同努めてまいります。

管理栄養士 友次 朋恵





口腔ケア教室

7月3日14:00より、交流ホールにて口腔ケア教室が開催されました。

毎年恒例になっていて、入所者の皆さんが、いつもお世話になっている本郷歯科医院から、院長先生、副院長先生、歯科衛生士（3名）の方々に、お越しいただきました。院長先生から歯周病菌が、全身に影響し、様々な病気を引き起こすこと、また歯周病菌を除去するためには、口腔ケアが有効であることと、口腔ケアをするための道具の紹介等の講義をしていただきました。最後に歯科衛生士さんに、個別で口腔内のチェックをしていただき、今後のケアの方向性について、教えていただきました。入所者の皆さんも職員も、有意義な時間を過ごせたと思います。

看護職員 高木 京子



盆踊り・花火大会に参加しました



令和元年7月26日（金）憩いの丘で『盆踊り花火大会』が開催され、玉松園からも入所者4名と職員を含め15名が参加しました。まじかに上がる花火の大きさと音に圧倒され、みんな大満足して真夏の夜の盆踊りを楽しんだようです。帰りの車中では入所者の皆さんから「来年もまた見に行きたいなあ」「花火はすごかったなあ」と自然と声があがっていました。

憩いの丘の職員の皆様には席の準備や駐車スペースの確保など協力していただき、ありがとうございました。

総務課 吉澤 和幸



玉松園盆踊り大会を開催しました



7月23日、今年もこの季節がやってきました。施設長の太鼓の音に合わせて、皆で輪になり「備中松山踊り」「ちびっこ音頭」「炭鋏節」の3曲に加え今年、御津婦人会の皆様をお招きし、地元ならではの「御津音頭」を教えてください一緒に踊りました。

婦人会の皆様と職員全員、今回は数名の入所者さんも浴衣に着替えられ大変喜んでいただけました。普段見られない職員の浴衣姿を見て「きれいじゃな～」「まあだれかと思うたあ～」「やっぱりええなあ～」と、笑顔で言われていました。

途中、かき氷も振る舞われ、和やかな雰囲気の中で季節感たっぷりの盆踊り大会を終える事が出来ました。



介護職員 二宮 多恵子



和みの郷かなや



養護老人ホーム



日帰りバス旅行の思い出



7月18日：久しぶりのバス旅行を老人互助会と職員が協力して計画しました。総勢46名の旅、大型観光バスは目的地の総社市にある「サンロード吉備路」へ！！バスの中では、和みの郷の謎のバスガイドさんによる“クイズや歌”で大いに盛り上がり、時間も忘れて目的地に到着。

今回、一番の楽しみは「食事」です。貸切の大きなコンベンションホールでは、参加者の様態に食事を合わせるために先乗りした施設の栄養士、看護師さんたちが迎えるなか、「会席料理」がセットされ各テーブルに入所者と同伴の職員が一緒に着席。

お品書きを目にしながらか、食べる前から「これ何の刺身？」「すごい量。食べきれないわあ！」の声があちこちで聞こえていました。「乾杯！！」の合図とともに沢山の料理を堪能しました。



食事の後は、もう一つのお楽しみ「買い物」です。数名に分かれてお土産コーナーへ！名産品を見る人、お菓子や飴などを買う人、それぞれが自分の欲しい物を楽しく選んで購入されていました。

帰途は、車窓から吉備路の「作山古墳」「備中五重塔」「雪舟誕生の地」を見学しながら無事に和みの郷に到着しました。



残念ながら旅行に参加できなかった入所者の方々は、施設で特製の「会席料理」が振舞われ、余興として「カラオケ大会」等も開催され、同様に楽しい一日が過ごせました。



施設特製の会席料理

この計画を通して日頃とは違うかかわり、表情を垣間見ることができました。

是非、近いうちに次の計画を進めていきたいと思いました。

介護職員 藤井 由香

平成

平成から令和へ

令和



5月1日：令和の日、栄養士さんと厨房の皆さんがおいしい記念の品を作ってくださいました。

おやつ用の蒸しパンには「令和」の文字が入っています。施設長の「令和になっても元気で頑張りましょう！」というお話の後で、紅白のおめでたい蒸しパンを皆でいただきました。

計画作成担当 橋本 央子



民謡クラブ「新見婦人会」



5月29日：民謡クラブの皆さんが、今年も来所されました。衣装や持ち物を替えながら次々に繰り広げられる踊り、そして最後の「新見音頭」は会場の皆さんおなじみの地元踊り、一緒に輪に入って踊る人、自分の席で踊る人、見るだけでなく一緒に踊りを堪能しました。



また、会場からの突然のアンコールにも気軽に答えてくださり「河内男節」が始まりました。なんとその輪には施設長も飛び入り参加。見ていた皆さんの手拍子もよりいっそう大きくなり、会場は、最後まで笑顔があふれていました。

計画作成担当 橋本 央子

たまねぎ

6月11日：市内の篤志家から、たまねぎをたくさんいただきました。



突然のお申し出に戸惑いながらも感謝して、入所者と一緒にいただきお礼も申し上げたのですが、なんと、お名前を何うのを忘れてしまい、たいへん申し訳なく思っています。今度お目にかかれたら、是非お名前を教えてください。



計画作成担当 橋本 央子

七夕飾り

6月も終わりを迎える頃、七夕様の笹が用意されました。入所者の皆さんに七夕飾り作りをお願いすると「早いなあ～、今年もこの季節が来たか。」と昔話をしながら作業をしてくださいます。



しかし、いざ短冊に願い事を書いていただくときになると手が止まり「書くことはねえなあ。長生きしたし！」と言われます。



「5月には年号が変わったし、来年は2度目のオリンピックもある。楽しい事も色々ありますよ？」と話す「そうじゃなあ。観てみたいなあ… 元気でおらにゃなあ」「孫はどうしょうかなあ」と話がはずみ「健康でおれますように」等と短冊が次々と出来上がりました。中には「あんたの子、小学校じゃあ？」と言って、「子供が元気で大きくなりますように。」と書いてくださる方もいて、感慨深い七夕になりました。

介護職員 瀧口 康士

不在者投票所開設

7月17日：参議院議員選挙不在者投票所を開設しました。新見市選挙管理委員会の立会人と管理者が見守る中、投票開始。

希望により、27名の入所者が頭をひねりながら鉛筆を持ち、投票用紙に自らの意思で候補者氏名や政党名を記載し、明日の明るく住み良い日本のために清き1票を投じていました。



主任支援員 松本 久美子